

数理計画法を用いた 投資指標の合成方法の検討

MTEC 主任研究員 山本 零

要旨

投資銘柄の魅力度を測定する投資指標の構築は、ポートフォリオの運営を行う際に、そのパフォーマンスを決定する最も重要な要素の1つであり、作成する投資指標の有効性だけでなく、運営の行いやすさ、コストマネジメントも考慮して構築方法を検討する必要がある。本研究では、マルチファクターモデルを利用した投資指標合成モデルについて、採用指標数制約、自己相関制約という実用的な制約条件の下で IC (Information Coefficient) を最大化するモデル構築方法を定式化した。また国内株式市場で有効性を検証した結果、本研究で構築した投資指標を用いることで、制約条件を考慮しないモデルに比べ、売買コストを低下させ、ポートフォリオのパフォーマンスを改善させる効果があることを実証した。